

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金成果報告書

代表者氏名 (ふりがな)	石井 康智 いしい やすとも	所属	早稲田大学文学学術院
研究集会等名称	公益社団法人日本心理学会中医心理学研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <p>会員 10名 (うち認定心理士 0名) 非会員 1名 (うち認定心理士 0名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 (実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください)</p> <p>社団法人日本心理学会中医心理学研究会 (以下本会) の目的は、日本心理学会会員を中心として、中医心理学という新たな領域に関する知見を深めるとともに、この心理学領域に関する理論的・実証的な研究を組織的に行い、その成果を広く公表することである。</p> <p>本会の 2011 年度の活動は、①研究集会の定期的実施、②国際中医心理学会第 4 回大会 (北京) における研究発表、③日本心理学会第 75 回大会ワークショップにおける話題提供と討議の実施、④鍼灸師と心理士の交流研究会の実施であった。</p> <p>①研究集会は、4月4日、6月6日、7月25日、8月30日、10月17日、12月12日、1月26日、2月27日、3月22日の9回実施され、その主な内容は、国際中医心理学会第4回大会 (北京) への参加及び研究発表と日本心理学会第75回大会ワークショップの実施及び運営に関する協議・準備・総括、次年度の計画策定であった。</p> <p>②国際中医心理学会第4回大会 (北京) は、メンバー6名が参加し、石井及び奈良による2題の研究発表がなされた。</p> <p>③日本心理学会第75回大会ワークショップは、中国山東省より山東中医薬大学・張伯華教授を招いて9月17日に実施された。張氏及び会員による話題提供の下に、中医心理学の現状や領域、独自性などに関して討議がなされ、この領域に於ける日中の研究交流を日本で実現する事ができた。</p> <p>④「東洋療法と心理学」というテーマで鍼灸師と心理士の交流研究会を11月20日に早稲田大学戸山キャンパスにて実施し、両領域の相互理解を深めることができた。</p> <p>2012年度は今年度同様、定期的研究集会を8回実施するとともに、日本心理学会第76回大会において中医心理学に関するワークショップを行う予定である。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>		